



日本共産党 長田雅基 16  
まちづくり計画の影響は

**問**生まれ育ったふるさとを大切に思うところから、策定される立地適正化計画と都市・地域総合交通戦略が芳野地域にもたらす影響について伺う。

**答**都市計画部長 立地適正化計画や都市・地域総合交通戦略は医療、福祉、商業等の日常サービス機能を維持しアクセスを確保することにより、市民の健康で快適な生活環境

の実現を図り、持続可能な都市経営を可能とするために取り組むものである。芳野地区の方にとっても、本市が利便性の高いまちとして維持されることは、暮らしやすさの維持と都市計画マスタープランに掲げるまちづくりの実現につながるものと考えている。



日本共産党 柿田有一 17  
子ども向き合おう時間を

**問**教員が担う役割が増え子ども向き合おう時間が減っているが、多忙化について負担軽減のためどのように取り組んでいるか。

**答**学校教育部長 市としては、一人一人の子どもに担任の目が行き届くよう課題に応じて市独自に採用した教職員を配置している。また、学校における負担軽減に関する会



市長フォーラム 高橋剛 18  
地区別防災カルテの作成を

**問**市や自主防災組織と連携して、地域課題や防災特性を反映した地区別防災カルテを、地域会議で作成することについて、市の考え方を伺う。

**答**危機管理監 地域の方々が地域の災害特性を把握し、災害時の対応を検討することは、地域の助け合いである共助を推進する有効な手段の一つであると認識している。そのため、地域の方々が地域会議において、地域独自の地区別防災カルテの作成を進めていく際には、要望に応じて情報提供などの支援をしていきたいと考えている。

**問**なぐわし公園北側に住む人々は小畔川を大きく迂回しなくてはならない。敷石の設置により動線確保につながるが、設置には何が必要か。



政晴会 明ケ戸亮太 19  
なぐわし公園への敷石設置

**答**都市計画部長 小畔川に歩行者動線を確保するために、川を渡れる敷石や堤防面に階段、これらの施設を結ぶ通路などの整備が必要となる。また、手続きとして、河川

管理者である国土交通省に河川整備計画に支障がないか、治水や利水に支障が生じないものであるかなどについて協議を行い、占用許可を得る必要がある。



政晴会 川口啓介 20  
包括的な自転車政策展開を

**問**自転車の利便性、安全性、環境負荷や観光への貢献等、まちづくりの一环として包括的な政策展開が必要だ。自転車の総合的な計画作成の考えは。

**答**都市計画部長 自転車利用の促進については、交通混雑の緩和や環境面での効果が期待できるほか、回遊性の向上、利用者の健康増進にも寄与するなどの点からも重要と

考えている。今後安全な走行環境の確保、自転車利用に関する情報発信などに努め、利用促進を図れるように取り組みをしていく。また、自転車に関する総合的な計画については、埼玉県や他市の動向を注視し、研究していく。



やまぶき会 矢部節 21  
市街地の慢性的渋滞解消は

**問**県道拡幅路線川越上尾線の市役所から松江町交差点間の慢性的渋滞の解消に向けて具体的な取り組みをどのように考えるか。

**答**都市計画部長 平成24年2月に、「北部市街地自治会交通対策連絡協議会」が発足し、渋滞緩和のための取り組みについて協議している。市としては、交差点改

